

令和4年度

第2回 北杜市社会教育委員会・公民館運営審議会 会議録

日 時 令和4年7月12日（火） 午後1時30分～午後3時45分

場 所 北杜市役所 大会議室

出席者 丸茂 正、小泉育子、内藤雅人、赤岡けさみ、内藤久敬、清水もとみ、板山國夫、植松利恵子、藤森富士夫、進藤美紀、清水慎一、今井三津子、白砂 勇、原まゆみ、古澤武彦、功刀美津子、北原正倫、進藤聡彦、花谷泰広

欠席者 日永龍彦

事務局	教育長	興水 清司
	教育部長	加藤 寿
	教育部参事	平井 ひろ江
	生涯学習課長	渡辺 美津穂
	社会教育担当リーダー	高柳 博基
	社会教育担当	小池 真美
	社会教育担当	古屋 俊樹

議 事 （1）北杜市生涯学習推進計画について
（2）その他

公開・非公開の別：公開

傍聴人の数：なし

開会

1. 開会あいさつ（藤森社会教育委員会副議長）
2. 会長あいさつ（内藤公民館運営審議会会長）
3. 教育長あいさつ（興水教育長）
4. 協議事項（板山社会教育委員会議長）
 - （1）北杜市生涯学習推進計画について
 - （2）その他
5. 閉会あいさつ（赤岡公民館運営審議会副会長）

(事務局) 傍聴人のいないことを確認し議事に入る。

(議長) 協議事項 (1) 北杜市生涯学習推進計画について、提案をお願い致します。

(事務局) 北杜市生涯学習推進計画について説明する。

(議長) ご意見ご質問等ありましたらお願い致します。

(委員) 基本理念を選ぶにあたって、体制づくりか市民向けか、どちらを選びますか。

(議長) 事務局からお願いします。

(事務局) 短い言葉の中で集約できるものだと思います。ありたい姿の中の、学んで生かしてつなぐというサイクルをベースに基本理念を選んでいただきます。基本目標はあくまでご提案ですが、基本目標も参考に基本理念を選んでいただければと思います。どちらの側面で選ぶかは難しい部分であります。基本目標と基本理念がリンクするようにご検討いただきたいと思います。

(議長) ありがとうございます。

(委員) 社会教育委員はいろんな立場の人たちが集まっています。事務局が方向性を出したものに対して、委員がそれぞれ意見を言いましょう。基本理念を考えた人がそれぞれアピールポイントを発表しますか。それともありたい姿の5つに沿って投票にしますか。

(議長) 事務局お願いします。

(事務局) この計画は2年かけて手作りでやっています。各部会で参画していただき、手作りで作っています。みなさんのご提案をみなさんが認識していただき、事務局で共通項を5つ挙げる形を取りました。5つの共通項は31のご提案すべてに関連しています。みなさんの思いはすべて詰まっていると思っています。この5つは基本理念と基本目標の間の部分として位置付けたいと考えています。この5つを集約したものを基本理念として選んでいただきたいと思います。

(議長) 他にご意見ありますか。

(委員) 委員から出ている基本理念は、市のスローガンとどういう位置づけですか。市全体のスローガンですか。市のスローガンの一部ですか。

(議長) お願いします。

(事務局) 第3次北杜市総合計画が最上位計画で、こちらをベースに考えていただきます。生涯学習推進計画は総合計画の一翼を担っております。

(議長) それでは、基本理念は投票で決めますか。挙手で決めますか。

(事務局) 投票用紙を用意しました。ご記入いただき提出して集計させていただきます。休憩を兼ねて、熟慮していただければと思います。

(議長) ご意見ありましたらどうぞ。

(委員) 「まなぶ、いかす、つなぐ」は大事だと思うんですが、「まなぶ」が一番重要ではないでしょうか。「まなぶ」を重点に選びたいと思います。

(議長) ご意見でした。他にご意見ありますか。

(委員) 各自が1つ選んで投票しますか。結果の多数決で決めますか。内容も大事だが、語呂としてふさわしいかどうか検討した方がいいと思います。上がってきた中で整理をして決めていくとか、手続きを確認してから選びたいと思います。

(議長) 事務局お願いします。

(事務局) そこもみなさんで決定していただきます。案を絞ってから再度考えるのもいいと思います。

(議長) いくつ選びますか。

(事務局) おひとり一点です。結果をすべてお伝えしますので、再度審議していただければと思います。

(議長) わかりました。

(委員) 基本理念の31点と、将来ありたい姿の5項目も含めて投票していいですか。

(議長) 事務局どうぞ。

(事務局) 将来ありたい姿はご提案頂いた31点を集約したものです。5項目をまとめたものを基本理念に選んでいただきます。将来ありたい姿は基本理念と基本目標の間の部分として位置づけていきます。

(議長) よろしいでしょうか。

(委員) 語呂や言葉の順序を十分検討した方がいいのではないのでしょうか。最終的に選ばれたものに対して、検討しなおして、最終的にいいものにした方がいいと思います。

(議長) よろしいでしょうか。

(事務局) 他の自治体の語呂やリズム感を参考にして選んでください。

(議長) では、休憩に入ります。

(休憩)

(議長) 投票結果を事務局よりお願いします。

(事務局) 投票結果をお伝えします。2番が1票、3番が7票、4番が1票、5番が2票、7番が1票、8番が1票、10番が0.5票(26番と案分)、11番が1票、25番が4票、26番が0.5票(10番と案分)。1位は3番の7票、2位は25番の4票、3位は5番の2票でした。

(議長) 本日ひとつに決めますか。

(事務局) 本日決めます。

(議長) どのように決めましょうか。ご意見ありますか。1番多い3番の「学びあい つな

がりあう 杜のまち（北杜市）」でしょうか。いかがでしょう。

（事務局）他の自治体を参考とすると「（北杜市）」を「ほくと」または「北杜」とするのがいいのではないのでしょうか。

（議長）いかがでしょう。

（委員）最上位計画に「人と自然と文化が躍動する環境創造都市」という基本構想があります。そこに「北杜新時代 幸せ実感 チャレンジ北杜」とあります。漢字表記でそろえた方がよろしいのではないのでしょうか。

（議長）漢字表記との意見です。いかがでしょう。異議なしということで、「学びあい つながりあう 杜のまち 北杜」で決定します。次へ進みます。ご意見ご質問ありますか。

（委員）6ページは論点整理なので、表に出ることはありませんよね。

（事務局）出ません。

（委員）結構です。続いて、7ページに若年層や子育て世代は学びの予備軍と書いてありますが、いかがでしょう。

（議長）事務局どうぞ。

（事務局）アンケートの中で、若年層で学びの時間がない、子育て世代で学びたいけど時間になったり、子育てが忙しかったりというところが、北杜市の現状です。高齢者の方は、比較的グループや個人で活動している傾向があります。若年層や子育て世代が行かないたいが出来ていない人がいるので、ターゲットにすると全体的に活性化するのではないかと思います。今回、学びの予備軍として括らせていただきました。

（議長）いかがでしょう。

（委員）本当に予備軍でしょうか。違和感があったので発言しました。

（議長）よろしいでしょうか。他にご意見ありますか。

(委員) 基本目標は、市の計画推進の目標なのか、市民のみなさんに目指してくださいという目標なのか、どのように捉えたらよろしいでしょうか。

(議長) 事務局お願いします。

(事務局) 市の姿勢を示すのが大前提です。市民の方も、市も同じ目標に向かうのがいいのですが、まず市が先頭になって行っていきます。それに共感いただき、一体化して行っていきます。

(議長) よろしいでしょうか。他にありますか。

(委員) 学びの予備軍は、学びたいけれど学ぶ機会がない、時間がないという説明があると思うのですが、ぱっとみると何だろうと思います。理解できない人もいます。あと、「いかす」は「活かす」なのか「生かす」なのか、どちらでしょうか。

(議長) 事務局お願いします。

(事務局) 学びの予備軍ですが、定義があいまいです。「学びたいけれど学べない」や、「若年層や子育て世代」等、注釈をつけようと思います。今度作成する中で対応しようと思います。また、「いかす」は他の自治体でもいろんな使い方をしています。検討していきます。

(議長) 他にありますか。

(委員) 基本目標②に「移住してきた方などの隠れた人材」とありますが、隠れた人材は特に移住してきた方に視点を当てる必要があるのでしょうか。地域や市民でなく、移住してきた方が大事なのでしょうか。

(議長) どうぞ。

(事務局) 移住された方も、もともと住んでいる方も、いろんな才能を持っている方がいます。もともと住んでいる方は、昔から団体に所属していたり、活発に活動していて、承知している部分もあります。移住された方を重点的に掘り起こしていくという意味です。移住された方に限定するものではありません。

（議長）他にありますか。基本目標はこれで決定しますか。

（事務局）まだ決定でなく、この計画を原課に説明するための道しるべです。基本施策はまだ決定ではありません。本市の規模ではマンパワーや財政等、事業が出来ない場合もあります。原課とすり合わせをしながら絞り込んでいきます。

（議長）次に進みます。ご質問ご意見ありますか。

（委員）進行管理及び評価指標は、事業の管理で使うのか、職員の評価に使うのか、いかがでしょうか。

（議長）お願いします。

（事務局）進捗管理・PDCA は一般的に単年度で検証していきます。たとえば、ふるさと創生会議では前期後期で進捗状況を報告しています。また、年度で閉めて、原課におおした後、みなさんにお示しすると6月頃になります。6月には次の年度の当初予算が始まっています。当初予算に反映するのであれば、年度の実績値が出なくても、年度の中で感触を得ることは必要です。上半期下半期で進捗状況を報告して、方向性についてご意見をいただければありがたいと思います。

（議長）よろしいでしょうか。

（委員）進行管理は、市の事業の管理だけか、職員の評価にも使いますか。

（議長）お願いします。

（事務局）生涯学習は人が多く集まればいいのでしょうか。定員が50人なのに10人しか集まらなくても10人が満足してもらえればいいのでしょうか。行政としてはお金をつぎ込んで、50人のところに10人しか来なかったら、結果としてはダメだと思います。また、人事評価では指標になるかもしれませんが、人事評価は人事評価として考えていきます。

（議長）よろしいでしょうか。

（委員）成果指標はあくまで事業や施策の評価として考えるということですね。

(事務局) 来年度の予算にどう反映していくのか、この事業を続けていくと将来どうなるのかという判断材料として評価していきます。計画は夢を持って目標を立てますが、予算編成の中では、10%削減するように指令が出ています。計画のポイントを絞って予算編成していきます。

(議長) よろしいですか。

(委員) ありがとうございます。

(議長) 質問ありますか。

(委員) インプット指標の中で、「資源（人、物、時間）」とありますが、予算も含まれますか。

(議長) 事務局お願いします。

(事務局) 予算があってこそその「人、物、時間」です。予算がそこに含まれていると考えて結構です。

(議長) ご意見ご質問あればお願いします。

(委員) 評価指標について、講座の開催数で評価することは想定していますか。開催数によって取り組みを評価できるのか心配しています。

(議長) 事務局お願いします。

(事務局) ここに書いてあるのはあくまでイメージです。インプット指標をイメージしやすいように講座の開催数と書いてあります。第3次北杜市総合計画での目標値は参加者数で表記されています。第2次総合戦略でも同様です。講座の内容で講座数が多かったり少なかったりします。ここに書いてあるのはイメージで、項目ごとに適した指標を設けます。

(議長) よろしいでしょうか。

(委員) 講座を多く開催しただけでOKだという評価はないですね。

(事務局) 必ずしも否定はできません。回数が多いこともひとつと思っています。講座の内容によって、回数が少なくてもいいものもあるし、多いことがよかったりすることもあります。全否定はしていません。

(委員) わかりました。

(議長) よろしいでしょうか。では、検討事項①評価指標の設定の可否について多数決をとります。賛成の方は挙手してください。可となります。検討事項②評価指標の設定単位についてご意見ありますか。

(委員) 案1、案2だけでは対応しきれません。基本目標に指標をつけられますか。施策の細かい所で設定するものもあると思います。細かい計画が出てから議論するべきだと思います。

(議長) 事務局お願いします。

(事務局) 今日は案1案2という形で示しております。イメージが付きにくい所があると思います。基本理念、基本目標、基本施策の大枠が出来たところで、原課に事業を投げて、次回骨格をつくります。こんな事業があるならこんな指標があるなど分類できると思います。

(議長) 次へ進めます。ご意見ありますか。事務局は何かありますか。

(事務局) 今後の予定ですが、今日の意見を庁内の担当を通じ、具体的な施策にしたいと思っています。次回は具体的な施策と計画の構成、計画の素案を出していきたいと思っています。分野ごとに現状や問題点、方向性を文章化してまとめていきます。分野ごとの課題や方向性を整理するために、部会の構成をいかします。

(議長) 事務局から説明がありました。ご意見ご質問ありますか。続いて、協議事項(2)その他について事務局お願いします。

(事務局) 協議事項(2)その他について説明する。

- ・ 関東甲信越静社会教育研究大会山梨大会について
- ・ 北杜ふれあい塾について

(議長) ご質問ありますか。以上で協議事項(2)その他について終わります。

終了（午後3時45分）